

案件

枚方市国民健康保険被保険者を対象とした特定健康診査の受診勧奨について

健康寿命推進室 健康づくり・介護予防課
国民健康保険室 国民健康保険課

1. 政策等の背景・目的及び効果

本市国民健康保険では、「第3期枚方市国民健康保険特定健康診査実施計画」及び「第2期データヘルス計画」に基づき、生活習慣病発症リスクの早期発見・早期予防を図ることを目的に、「特定健康診査（以下「健診」という）」受診率向上をめざし、大阪大学との事業連携協定に基づいた受診勧奨を実施しています。

このたび、令和4年度に実施した、大阪大学が作製したAIツールを活用した受診勧奨の効果検証がまとまりましたので、報告するものです。

2. 内容

(1) 受診勧奨の方法

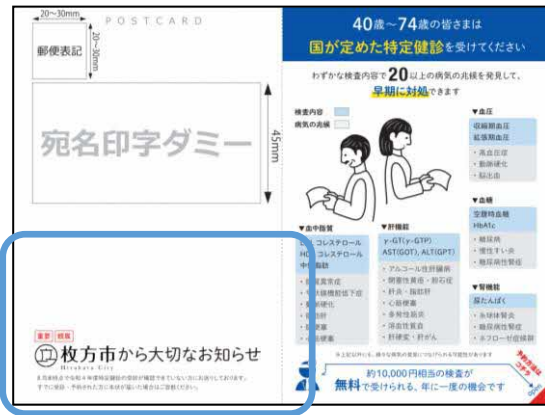
ア. 過去5年間の健診並びに標準的な質問票から得たデータをもとに、まずA Iにより健診対象者を、受診予測確率を算出して4つに層別化したグループ（下表1から4のグループ）と、受診予測確率という括りではない3つのグループ（下表AからCのグループ）に分けました。

		グループ	対象者数(人)
受診 確率 予測 モデル	1	受診予測確率 高(80%~100%)	4,375
	2	受診予測確率 中高(50%~79%)	6,219
	3	受診予測確率 中低(20%~49%)	4,323
	4	受診予測確率 低(0%~19%)	4,094
算出 対象 外	A	健診歴なし (5年分)	25,314
	B	41歳~44歳	2,409
	C	初めて対象者	1,482

イ. 分類したグループごとに、従来の案内である「宛名面にメッセージを記載していないもの」に加え、ナッジ理論(※)を活用し、勸奨のナッジとして、必ず確認を行うハガキの宛名面に2種類のメッセージを記載したものを含めて、合計3種類の個別案内を作成しました。個別案内は、開封しなければ内容の確認ができない封筒ではなく、「圧着ハガキ」を使用しました。

【圧着ハガキの見本】

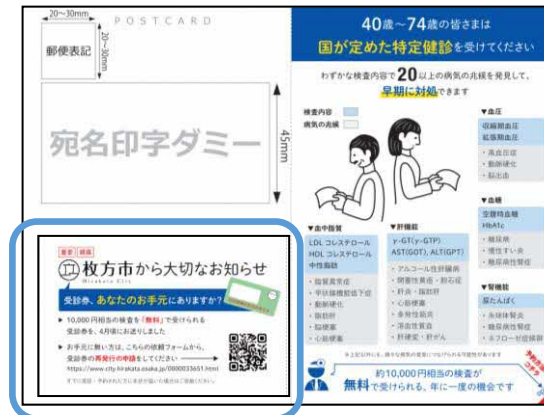
従来の案内
メッセージの記載なし



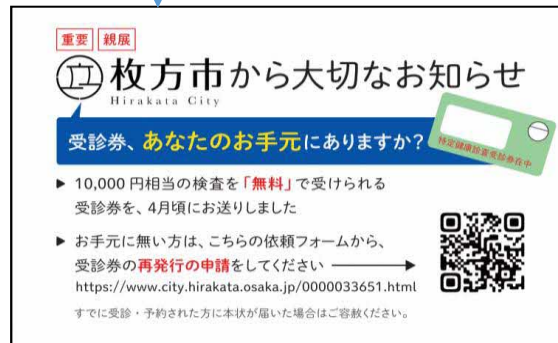
宛名面にメッセージの記載なし

ナッジ活用㉑

「受診券、あなたのお手元にありますか？」
(受診券の紛失や検索する手間に着目)



拡大

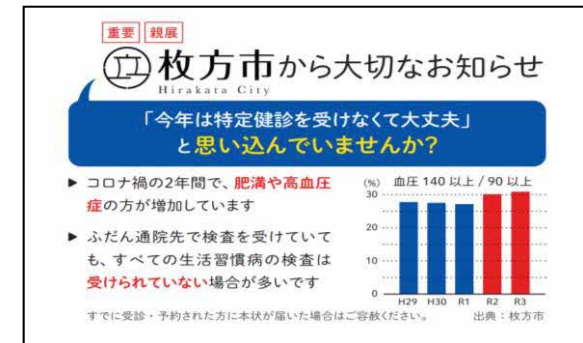


ナッジ活用㉒

「『今年は特定健診を受けなくて大丈夫』
と思込んでいませんか？」
(治療中であっても健診の受診が必要であることを喚起)



拡大



※ ナッジ理論とは、経済的なインセンティブを大きく変えたり、罰則・ルールで行動を強制したりすることなく、本人の選択の余地を残した行動科学に基づく小さなきっかけで人々の意思決定に影響を与え、行動変容を促す手法・戦略のことであり、上記ではその小さなきっかけ自体を「ナッジ」と言っています。

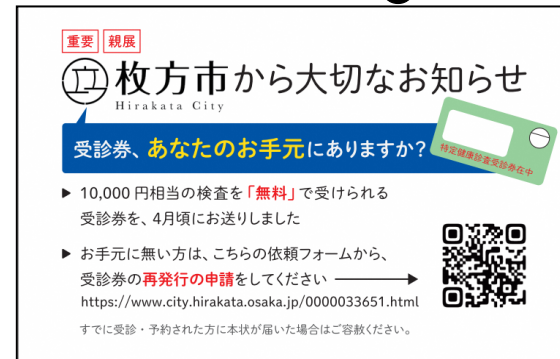
ウ. 圧着ハガキの送付パターンについては、効果の評価のため比較する基準とするため、従来通り「宛名面にメッセージを記載しない案内」を1回送付するものをパターン①とし、これに加えパターン①及びパターン②として2種類のメッセージを記載したものを1回送付するパターン、さらにパターン③として「宛名面にメッセージを記載しない案内」を2回送付するパターンの4つのパターンに分けて送付し、それぞれの効果を検証しました。

【圧着ハガキの送付パターン】

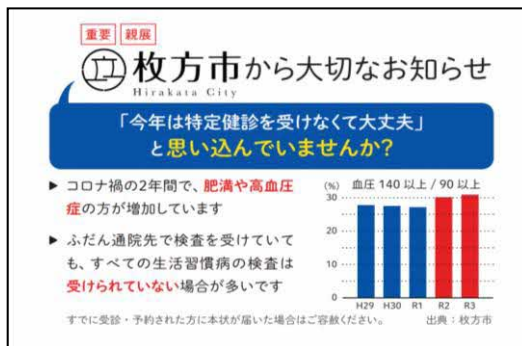
パターン① メッセージ記載なしの従来の案内を1回送付



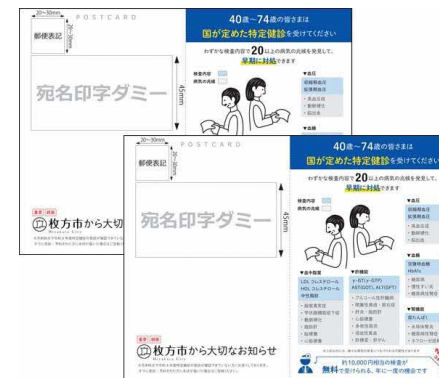
パターン① ナッジ活用② 1回送付



パターン② ナッジ活用③ 1回送付



パターン③ メッセージの記載なしの従来の案内を2回送付



(2) 結果分析から見た特徴

令和4年10月時点で未受診であった全集団を対象とした分析結果では、右表のとおり「③2回送付」の受診率は19.5%となり、「①従来の案内」の受診率17.3%から2.2ポイント増加しました。

また、下表のとおり、特に受診予測確率が中高から低いグループのどのグループにおいても「③2回送付」が、「①従来の案内」に比べ受診率を上げる結果となるとともに、受診予測確率が中低グループについては、「②思い込んでいませんか」が「①従来の案内」に比べ受診率を上げる結果となりました。

一方で、受診予測確率が高グループの「②思い込んでいませんか」のメッセージでは、「①従来の案内」に比べ、受診率が下がる結果となりました。

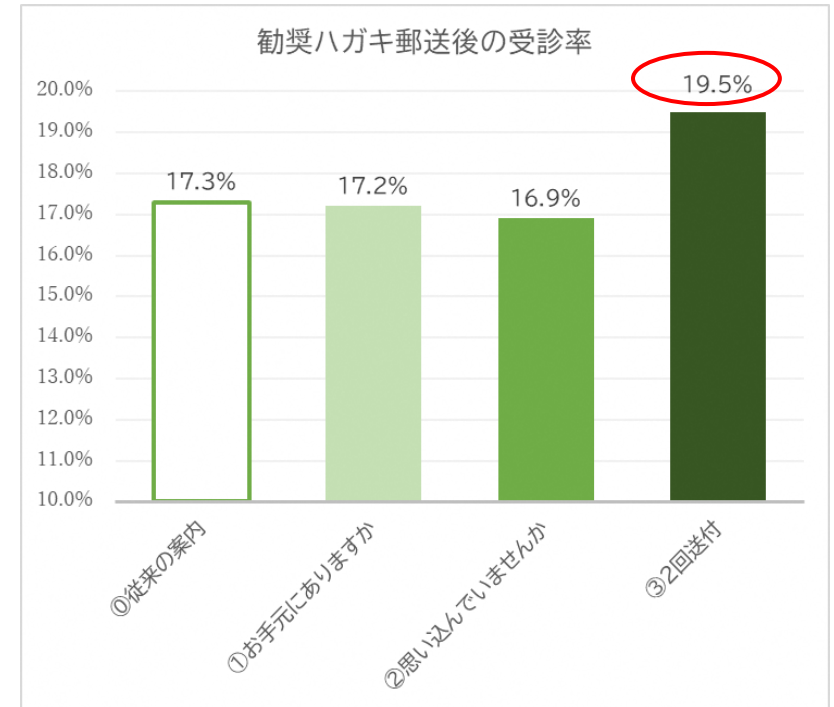


図 健診受診確率予測等グループごとのナッジ効果のまとめ図

受診確率予測算出対象外	1 受診予測高	2 受診予測中高	3 受診予測中低	4 受診予測低	5 健診歴なし (過去5年間)	6 41~44歳	7 初めて対象者
① お手元にありますか							
② 思い込んでいませんか	■		■				
③ 2回送付		■	■	■			

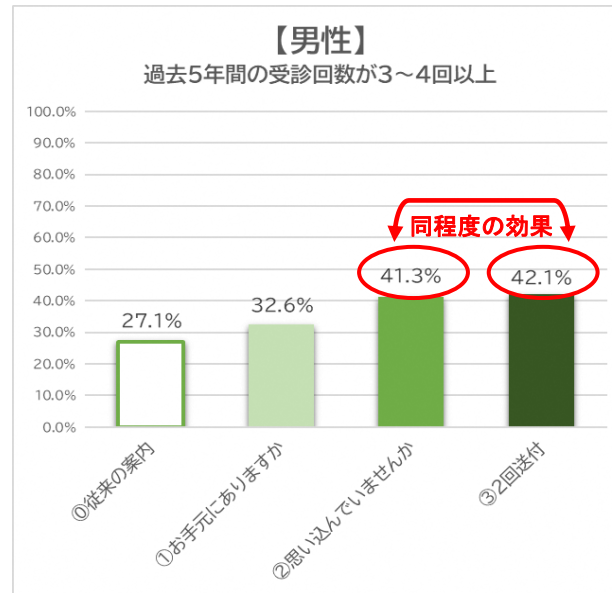
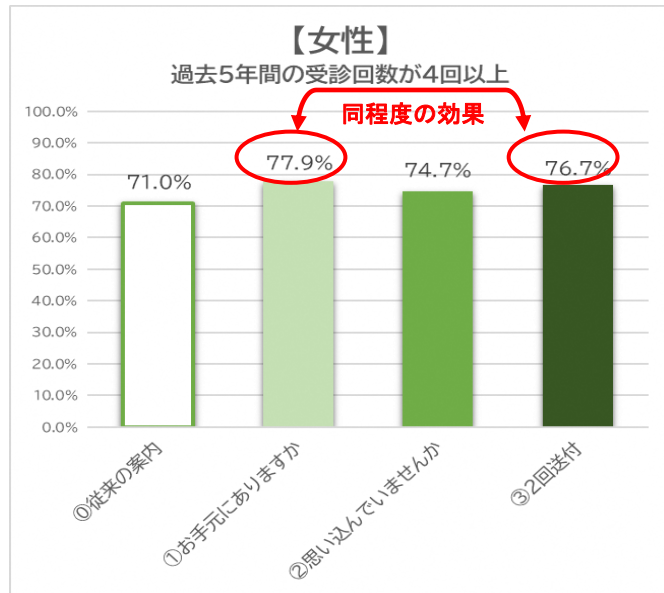
■ 受診率を下げる結果になったグループと方法
■ 受診率を上げる結果になったグループと方法



「③2回送付」効果があるものの、必ずしもすべてのグループに対して、最も効果的とは言えない。

さらに特徴を明確にするために、追加分析を行った結果、下表左のグラフのとおり、過去5年間に4回以上受診している女性のグループについては、「①お手元にありますか」が、「①従来の案内」に比べ6.9ポイント受診率を上昇させ、下表右のグラフのとおり、過去5年間に3回以上受診している男性のグループでは、「②思い込んでいませんか」が、「①従来の案内」に比べ14.2ポイント受診率を上昇させました。

いずれも「③2回送付」と同程度以上の効果を生む可能性が示されました。



対象グループによっては、「①従来の案内」より、効果があるパターンがあり、「③2回送付」と同程度の効果が期待できる。

【考察】

「③2回送付」と「①、②のメッセージ」パターンを使い分けることで、「①従来の案内」よりも効果的に、受診率を上昇させられる可能性があると言える。

(3) 今後の受診率向上に向けた取組

分析結果から、「③2回送付」と「①、②のメッセージ」を使い分けることが、効果的に受診率を上昇させられる可能性が示されました。

受診確率予測や対象者の過去の健診受診回数などを勘案し、引き続き大阪大学との連携協定により、費用対効果を含め効果的な受診勧奨に努めます。

また、「③2回送付」や「①、②のメッセージ」でも効果が見られなかった「過去5年間の健診歴なしグループ」等には、SMS（ショートメッセージサービス）の活用など、健診受診行動を促進させる新たなアプローチの方法について検討します。

さらに、令和5年度においても、令和4年度と同じ手法を用いて受診勧奨を行うことで、AIによる健診の受診確率の予測精度の向上に努め、性差に加え年齢差、令和4年度との比較などの更なる分析と効果検証を行い、効率的・効果的な受診勧奨に努めます。

3. 今後のスケジュール

枚方市国民健康保険被保険者を対象とした特定健康診査の受診勧奨

令和5年10月・令和6年1月の2回、受診勧奨の圧着ハガキを発送予定

令和6年3月から6月に大阪大学によるデータ分析予定

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち

施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち



5. 関係法令・条例等

- ・ 高齢者の医療の確保に関する法律
- ・ 国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針

6. 事業費・財源及びコスト

《事業費》

特定健康診査受診勧奨業務 5,600 千円

(支出内訳) 事業実施に係る委託料 5,600千円

※国民健康保険特別会計 特定健康診査等事業費に係る委託料のうち一部

《財 源》

特別交付金 保険者努力支援制度